

[28] 次の記述は、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編」（幼稚園・小学部・中学部）（平成 30 年 3 月告示）の「第 7 章 自立活動の個別の指導計画の作成と内容の取扱い 2 個別の指導計画の作成手順」の一部である。空欄 ～ に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 。

個別の指導計画に基づく指導は、計画（Plan）—実践（Do）—評価（Check）—改善（Action）のサイクルで進められなければならない。

まず、幼児児童生徒の実態把握に基づいて指導すべき課題を抽出する。そして、これまでの学習の状況や

を見通しながら、指導すべき課題の相互の関連を検討し、長期的及び な観点から指導目標（ねらい）を設定した上で具体的な指導内容を検討して計画が作成される。作成された個別の指導計画に基づいた実践の過程においては、常に幼児児童生徒の学習状況を評価し指導の改善を図ることが求められる。さらに、評価を踏まえて見直された計画により、幼児児童生徒にとってより な指導が展開されることになる。すなわち、評価を通して指導の改善が期待されるのである。

- | | | | |
|---|---------------|-------|-------|
| ① | ア 育成を目指す資質・能力 | イ 短期的 | ウ 適切 |
| ② | ア 将来の可能性 | イ 継続的 | ウ 発展的 |
| ③ | ア 育成を目指す資質・能力 | イ 短期的 | ウ 発展的 |
| ④ | ア 育成を目指す資質・能力 | イ 継続的 | ウ 発展的 |
| ⑤ | ア 将来の可能性 | イ 短期的 | ウ 適切 |